

アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業実施校一覧

	小・中学校（P T A）名
福岡	新宮町立新宮東小学校
	前原市立波多江小学校
北九州	小竹町立小竹南小学校
	中間市立中間北中学校
北筑後	久留米市立竹野小学校
	朝倉市立秋月中学校
南筑後	大牟田市立倉永小学校
	大木町立大溝小学校
筑豊	川崎町立川崎東小学校
	田川市立弓削田小学校
京 築	豊前市立八屋小学校
	みやこ町立犀川小学校
北九州市	北九州市立花尾小学校
福岡市	福岡市立香椎浜小学校

福岡地区

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
新宮町立新宮東小学校 P T A	大牟田 直人	相川 源晴
実施形態	全 校	
実施率	(6 8 2) 人	実施率 1 0 0 %
実施期間	6 / 2 6 ~ 7 / 2 ・ 1 0 / 1 6 ~ 1 0 / 2 2 ・ 1 / 1 0 ~ 1 / 1 6	
単 P の特色	地域・学校の協力体制がとれ、意欲的・創造的な P T A 活動が行われています。特色ある活動としては、東っ子フェスタ・見守りボランティア「ちょっと待てっ隊」・緊急メール配信システム・読み聞かせや校内の緑化ボランティア活動などがあります。	

1 事業のねらい

本校は、保護者の教育に対する意識が高く、学校行事やボランティア活動等へも積極的に協力する土壌があります。しかし、本年度実施した子どもの生活実態に関する事前調査では、11時以降に寝ている児童が19%、朝の挨拶があまりできない児童が19%、テレビ視聴時間2時間以上の児童が43%など、基本的生活習慣が十分身についていない児童がいることが分かりました。この子どもたちの多くが、学習時間にあくびをしたり、家庭学習の習慣が身についていない等の理由で学力にも影響が出ています。

そこで、生活リズムを整え、より安定した精神状態を保つためには、家庭生活のあり方を子どもたちと一緒に見直す機会が必要であると考えました。

本事業の実施は、保護者と子どもが家庭生活について考え、基本的生活習慣の重要性を再認識し、その確立を図るきっかけづくりをねらいとしています。

2 実施経過

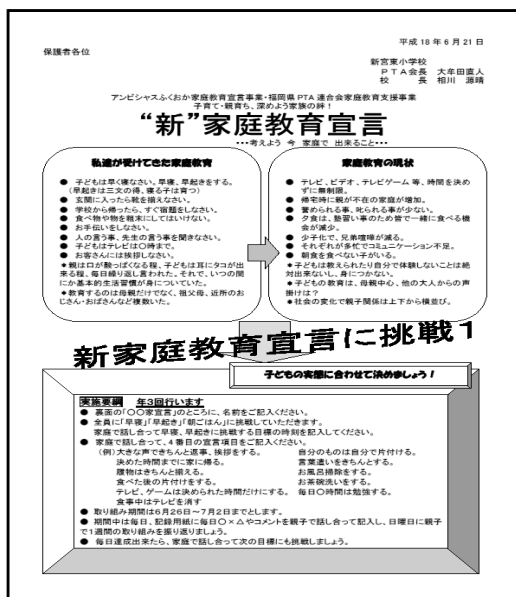
平成18年2月 P T A 運営委員会で「新家庭教育宣言」に取り組む事を確認
 4月30日(日) P T A 総会にて、「新家庭教育宣言」の説明、承認
 6月21日(水) 学習参観日「家庭教育講演会」を実施 講師 古川澄子先生
 子どもたちの明るい未来を切り開くために
 ～見直そう、子育て・親育ち～
 6月26日～ 7月 2日 第1回「〇〇家宣言」
 10月16日～ 10月22日 第2回「〇〇家宣言」
 11月末 実施結果(児童・保護者・教師の評価)をまとめ学校通信で報告
 1月10日～ 1月16日 第3回「〇〇家宣言」(県下一斉親子ふれあい週間)
 ※ 料理講習会【我が家の食を見直そう】の実施(年3回) P T A 教養委員会

3 具体的な事業の実際



家庭教育宣言に関する主な活動

- ① 新家庭教育講演会(写真) 古川澄子先生
- ② 「〇〇家宣言週間」の取組。(早寝・早起き・朝ごはん＋家族で決めた約束)
- ③ PTA会長のb l o gによる啓発
- ④ PTA広報誌“ひこばえ”、学校通信によるアンケート集計結果の報告、学級集会での活用
- ⑤ PTA教養委員会による料理講習会“早くて簡単朝ごはんメニュー”など





家宣言！

____年 ____月 ____日

児童氏名 _____

7月5日(水)までに全員提出してください

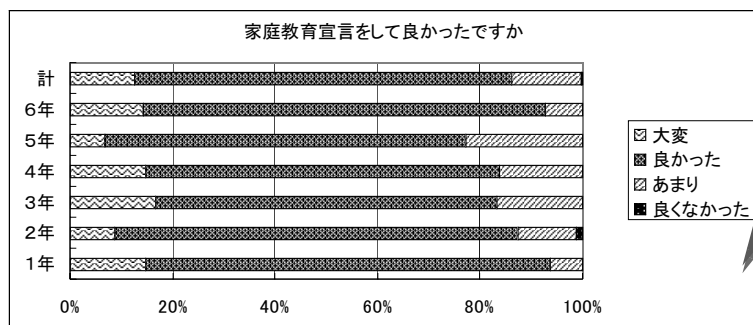
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
1. 早速 (時)							
2. 早起き (時)							
3. 朝ごはん							
4.							

※横で記入してあげてください！

● 感想 ●

◆普段夕食時にテレビがついている我が家です。食事中テレビに夢中で、お箸が止まったり、画面に釘付けだったりと気になることが多かったのですが、この一週間しっかりと座り、一生懸命食べる姿を見ることができました。(略)早寝に関しても、寝付くまでの会話も増え、朝の目覚めもすっきりで、気持ちのいい思いをしました。当たり前前のことができていなかったことに気づいたし、こんな簡単な努力で一日のリズムが整うのなら、意識して続けていきたいと思いました。(〇〇家宣言後の保護者の感想)

4 成果



新家庭教育講演会や「〇〇家
宣言カード」を実施すること
により、家庭生活のあり方を見直
す機会となり、基本的生活習慣
の大切さを再確認することがで
きました。

- アンケートを集約することにより、子どもたちの課題や家庭、地域での課題を確認し、学校、学年、学級経営やPTA活動に活かすことができました。
- 取組の趣旨や結果を学校行事や学校通信などで保護者や地域に発信することにより、家庭教育の重要性の確認と学校やPTA活動への理解と協力を得ることができました。

5 課題

- 高学年になると、習い事や塾、また、家庭によっては長時間のＴＶ視聴やゲームなどで基本的生活習慣が乱れがちです。低学年のうちから基本的生活習慣を身につけるために、学校・保護者が連携し、今後も継続した活動を進める必要があります。

単位 PTA 名	会長名	校長名
前原市立波多江小学校 PTA	三 苫 秀明	金子 治之
新家庭教育宣言実行委員会	学年学級委員会 17年度 委員長 兵頭 瑞恵 学年学級委員会 18年度 委員長 河津ひろみ (回収率 98%)	
実施形態 実施期間	第 1 期 平成17年 6月～平成18年2月 1～6 学年 30 学級 1163 名 第 2 期 平成18年 7月～ 現在継続中 1～6 学年 24 学級 788 名	
単 P の特色	本校は糸島半島の東に位置し、すぐ近くには瑞梅寺川と雷山川が流れ緑の田園が広がる自然豊かな地域にあります。また、福岡市と隣接し交通の便もよく、多くの転入者を迎え、新しい文化を取り入れながら古き良き伝統も残る地域の中の小学校です。昨年4月、生徒数の増加により東風小学校と分離し、350 名ほどの児童数が減少してしまいましたが、今では子ども達の心にも変化を受け止めるゆとりが現れ始め、本校が目指している「にこにこ はきはき 波多江小学校」に子ども達も自ら動き始め、理想的な形となっています。	

1 事業のねらい

学年学級委員会では「基本的生活習慣の更なる定着と、協働・共感等の家庭教育力の向上」を年間目標に掲げ、活動しています。本校では「生活習慣チャレンジカード」愛称 “ちゃれか” を使った活動を昨年度より継続して実施しています。この活動では、家庭において親子でコミュニケーションを取りながら「基本的生活習慣」を具体的に見直し、また、学校では各家庭でのチャレンジ内容や集計結果を持ち寄り、情報交換することで多くの保護者どうしが悩みを含めた子育てを共有・共感できるような学級集会を設定します。そうすることで、家庭、学校の両面において自分自身の生活習慣を考え直すきっかけとなり、このような活動が家庭教育力の向上につながることをねらいとします。

2 実施経過

平成 17 年 5 月初旬 基本的生活習慣に関するアンケート調査

6 月 20 日～6 月 25 日 第 1 回 “ちゃれか” 実施

7 月 6 日 低学年、参観・学級集会 7 月 13 日 高学年、参観・学級集会

9 月 12 日～9 月 17 日 第 2 回“ちゃれか” 実施

9 月 26 日 全学年参観・学級集会 ビデオ「眠りと遊びを奪われた子どもたち」上映

10 月 11 日～10 月 15 日 第 3 回“ちゃれか” 実施

11 月 10 日 教育講演会 「メディアと私たち」

11 月 14 日～11 月 19 日 第 4 回“ちゃれか” 実施

12 月 3 日 全学年参観・学級集会

12 月初旬 基本的生活習慣に関するアンケート調査(2 回目)

2 月 6 日～2 月 11 日 第 5 回“ちゃれか” 実施

平成18年

7 月 20 日～7 月 25 日 第 1 回 “ちゃれか 2” 実施

7 月 19 日 低学年、参観・学級集会 7 月 26 日 高学年、参観・学級集会

10 月 20 日～6 月 25 日 第 2 回 “ちゃれか 2” 実施

12 月 3 日 教育講演会 「いのち」をいただく 食育推進

3 具体的な事業の実際

(1) 表紙



(2) “ちゃれか”～生活習慣チャレンジカード



◆白抜きの表紙をつけ紛失を避けることと、色を塗ったり文字を書き加えたりと、楽しみながら取組めるよう工夫した。できたら○できなかつたら×で記録。△、空欄は×で計算。チェックした事がわかるようにスタンプを押したり、コメントを書き入れたりした。

17年度 !

◎朝食・身支度・挨拶・睡眠時間をベースに「夕食時にテレビを消す」「下校はまっすぐ決められた道を通って帰る」など、項目の1つはその時間問題になっている事を取り入れた。又自分で決めるチャレンジ・保護者のチャレンジを加えるなど全学年が同じ項目で計5回の“ちゃれか”を行った。

【学年学級委員会】

- ・クラス委員で自クラス分を集約。学年分とあわせて、コメント感想などの結果を学級集会で報告。
- ・委員長、副委員長で学年単位の集約をし、クラス委員、担任へ配布。又、クラス委員宛通信と全会員宛の通信を発行し参観・集会への出席を呼びかけると同時に“ちゃれか”の結果報告やお知らせをした。

《他委員会・役員執行部との連携》

【役員執行部・家庭教育委員会】

- ・アンケート調査及び講演会。

【広報委員会】広報誌への掲載、啓発活動。

18年度 !

◎学期に一度のチャレンジとし、朝食・挨拶・睡眠時間は継続しながらも、「挨拶は自分から進んで」など一歩踏み込む内容にした。さらに2学期は、各学年委員の話し合いのもと、学年ごとで項目を変えて行った。
例) 2年生→忘れ物をしない。6年生→自主学習 60分など。

◆子ども特別チャレンジの例と感想(抜粋)

例) ・風呂掃除 ・靴並べ ・自主学習をがんばる ・お母さんに本を読んであげる ・妹の世話をする
感想) ・抱っこしてもらおうとうれしい気持ちになりました。仕事も家のこともやってえらいと思います。・お母さんの本読みが上手でたまりません。・いっぱい話せてよかった

◆保護者のチャレンジの例と感想(抜粋)

例) ・腹筋 ・ダイエット ・30品目を使った料理 ・早くしなさいと言わない ・一日一回子どもを抱っこ。
・禁酒、禁煙 ・寝る前の読み聞かせ ・夫婦ゲンカをしない・一日一回ほめる
感想) ・子どもには出来ないかと叱ってしまいましたが、やってみると大変さがわかりました。・家族での会話が増えた。・お手伝いが助かる・時間を作ることの難しさを実感しました。

4 成果

1期目終了時に行ったアンケート調査では、約8割の保護者がこの取り組みを肯定的にとらえ、継続していきたいと答えました。2期目には委員のリーダーシップのもと学年ごとで話し合い、年齢に応じた項目を決めたことは、“ちゃれか”をより進化させたといえます。現在まで、数値的に劇的な改善や向上は見られないものの、回収率も100%近く、保護者の意識の変容や生活習慣を見直すきっかけ作り、また、家族間のコミュニケーションが深まったことから、少しずつでも「家庭の教育力の向上」につながっていると確信します。

5 課題

“ちゃれか”は常に進化し続け、各家庭が必要であるチャレンジ項目をそれぞれ話し合い、実施継続することで家庭での基本的習慣を見直し、家庭が本来持つべき機能を高めていくこと、また、参観学級集会で共通の課題等に取り組みながら、家庭と学校が協力し合い、ネットワークを完成させることを最終目標とします。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
小竹町立小竹南小学校PTA	宗 永 英 之	山 近 光 太 郎
実 施 形 態	全校	
実 施 率	197名 実施率100%	
実 施 期 間	7月3日～7月7日（第1期） 8月7日～8月11日（第2期） 9月4日～9月8日（第3期）	
単 P の 特 色	地域と学校と連携した「登下校巡回指導」や「朝の挨拶運動」に取り組んでいます。 小竹教育の日に児童・PTAが日頃取り組んだことを地域に向けて発表しています。	

1 事業のねらい

本校の児童の生活実態調査から次の4つの課題が分かりました。

- ①夜更かしをする子は学年が上がるに従って多くなります。
- ②起こされないと起きない子も目立って多いです。
- ③朝ご飯も一割近くの子が毎日食べていないようです。
- ④お手伝いしている子が少ないです。

この課題解決のため、親子で朝食メニューを考え、お子さんがお手伝いできる「チャレンジ親子で朝食作り」を実施し、自らの家庭教育を見つめ直すきっかけとすることをねらいとしました。

2 実施経過

5月15日	第1回実行委員会（組織・年間計画作り）
6月19日	第2回実行委員会（具体的方法の検討）
6月26日	機関誌第1号発刊（本校の児童の課題・「チャレンジ親子で朝食作り」・朝食簡単レシピ1）
7月14日	子育て講演会を実施 第3回実行委員会（チャレンジカード作成）
7月19日	機関誌第2号発刊（第1回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告）
9月19日	機関誌第3号発刊（第2回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告・朝食簡単レシピ2）
10月31日	機関誌第4号発刊（第3回「チャレンジ親子で朝食作り」の報告・家庭教育宣言事業のまとめ）

3 具体的な事業の実際

- (1) 親子で、朝食メニューを考え、その中でお子さんがお手伝いできる部分について後記のような3つのレベルを設定し、それを参考にして参加するようにさせました。
- (2) 朝食の意義や簡単朝食レシピを機関誌に載せ朝食を食べる子どもを増やしました。
- (3) 小竹教育の日（学習発表会のようなもの）において「チャレンジ親子で朝食作り」の取組を保護者や地域の方に知らせたり朝食作り実演コーナーを設けたりしました。

(1) の実際 「チャレンジ親子で朝食作り」の実際の取組は下記のとおりです。

レベル	内 容	具体的な取組
レベル 1	朝食の準備や 後片けに参加する	テーブルふき・食器並べ・後片付け・ご飯をつぐ・ お皿を洗う・みんなにお茶をつぐ
レベル 2	調理のお手伝い	ホットケーキの粉をまぜる・パンを焼く・おにぎりを作る サンドイッチの具をのせる・卵を割る・ソーセージを炒める・パンにジャムをぬる・味噌汁の味噌こし・野菜や果物を切る・おかずを温める
レベル 3	献立を考え、調理し、一品以上作り上げる	卵を焼く・（目玉焼き、卵焼き、スクランブルエッグなど） ホットドッグ・フレンチトーストを作る・味噌汁を作る・ おかずを作る（オクラの肉巻き・野菜炒め・焼き魚・大根おろしなど）

- ・ 回を重ねる毎に上位のレベルを目指す子が多くなりました。
- ・ 低学年の子が料理することに保護者の方も驚かれていました。

(2)の実際 機関誌で紹介した簡単朝食レシピは下記のとおりです。



「レタスとベーコンのみそ汁」と「納豆スクランブル」のレシピを機関誌第1号で紹介しました。

このほかに、和食の「千切り大根の卵とじ」や「ピーマンと塩昆布和え」や「わかめときゅうりの梅干し和え」等を紹介しました。

(3)の実際 朝食作り実演コーナーを小竹教育の日に催しました。



7・8・9月に行った「チャレンジ親子で朝食作り」で培った腕前を友達や保護者や地域の方の前で披露しました。



腕前を披露するのに参加したのは4・5・6年生の7名で、オムレツやスイートポテトやホットケーキ作りに親子で挑戦しました。

4 成果

- 朝食を毎日食べてくる子が72%から95%に増えました。あわせて、朝自分で起きるようになった子も増えました

5 課題

- アンケート等の回収率を増やし、この取組を保護者全体に浸透させる必要があります。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
中間市立中間北中学校 P T A	阿 部 昭 子	加 賀 利 男
実施形態	（全校） 学年 学級 その他（ ）	
実 施 率	（実施した生徒数） 2 0 9 人 実施率 1 0 0 %	
実施期間	第一期 7 月 1 0 日（月）～ 7 月 1 4 日（金） 第二期 1 0 月 2 3 日（月）～ 1 0 月 2 7 日（金） 第三期 1 月 1 5 日（月）～ 1 月 1 9 日（金）	
単 P の特色	挨拶運動、献血運動、研修、各種バザー等各委員会が精力的に活動しています。また 1 小 1 中の校区特性をいかし、小学校 P T A と連携した活動も行っています。	

1 事業のねらい

校区内の保育園・小学校・中学校の保護者が一体となり、学校と家庭が協働することで、子どもが生活の中で「早起き」を価値ある活動として実感できる活動を工夫し、繰り返し取り組むことで、各家庭の子育ての意識も高まり子どもの規則正しい生活習慣を定着させます。

2 実施経過

4 月 1 3 日（木）	第 1 回実行委員会にて取組について協議し実施計画案を作成する。
4 月 2 8 日（土）	P T A 総会にて「新家庭教育宣言」事業について概要を説明し、本年度の P T A 活動の大きな柱とすることを決定する。
5 月 1 1 日（木）	第 2 回実行委員会を開催し、講演会について協議する。
5 月 1 2 日（金）	保育園・小学校・中学校「家庭教育講演会」を開催 演題「思春期を乗り越えられる子ども達を育てるために・・・」 講師 助産師 内田 美智子先生
7 月 6 日（木）	第 3 回実行委員会を開催し、第一期の取組について協議する。
7 月 3 日（月） 〃	第一期早起きキャンペーンを実施する。
7 月 7 日（金）	
1 0 月 5 日（木）	第 4 回実行委員会を開催し、第二期の取組について協議する。
1 0 月 2 3 日（月） 〃	第二期早起きキャンペーンを実施する。
1 0 月 2 7 日（金）	
1 1 月 2 日（木）	第 5 回実行委員会を開催し、第三期の取組について協議する。
1 月 1 5 日（月） 〃	第三期早起きキャンペーンを実施する。
1 月 1 9 日（金）	
3 月 1 日（木）	第 6 回実行委員会を開催し、取組の成果・課題等のまとめを行う。



3 具体的な事業の実際

年間にわたり、第一期・二期・三期の取組を中学校 P T A だけではなく、小学校 P T A・保育園保護者会と合同で一斉に同時期に同内容で行いました。

(1) 事前の取組

- ① P T A 総会や学年保護者会で取組の趣旨説明を行いました。
- ② P T A 委員会活動の最初に「眠りと遊びを奪われた子どもたち」を視聴しました。
- ③ 生徒に対し、「早起きのすすめ」の授業を全校一斉に行いました。
- ④ 「チャレンジシート」に早起き時間等親子での約束事を記入しました。

＊事後には「振り返りシート」を活用して親子で1週間を振り返ることにしました。

(2) 第一期 早起き週間の実践

期間：平成18年7月3日（月）～平成18年7月7日（金）

時間：7時30分登校（通常は8時25分登校）

実践：登校時間を55分早め、7時30分までに登校し運動場集合としました。この時間帯に身体を動かすことを主目的として、「みんながゲーム感覚で楽しめる」を合い言葉にグラウンドで「百足競争」「大縄跳び」を時間いっぱい行いました。



(3) 第二期 早起き週間の実践

期間：平成18年10月23日（月）～平成18年10月27日（金）

時間：7時45分登校（通常は8時25分登校）

実践：登校を40分早め、7時45分までに登校しました。この時間帯は、文化祭前であり、全学級とも合唱コンクールの練習時間としました。

(4) 第三期早起き週間の実践

期間：平成19年1月15日（月）～平成19年1月19日（金）

実践：早く起き、家庭において自分で昼食の弁当づくりに取り組みます。

4 早起き週間を終えて ○生徒 ☆保護者

- 最初は朝起きるのがきつかったけど何日かたつと慣れてきてあまりきつくなくなりました。
- 朝早く起きて運動なんてあり得ないと思ったけど、意外と目も身体も覚めるし楽しかったです。
- 早く起きて、早く学校に行かなければならなかったからきつかったです。
- ☆最小限の声かけで実行できました。早起きするための工夫を自分自身で考えていたようです。
- ☆学校から帰ってすぐ食事ができるようにしたり、テレビの時間を減らして早寝をさせました。
- ☆家族も普段より1時間早めに起床しました。朝の準備に余裕を持てましたが、少々寝不足気味です。

5 成果

生徒が事前に立てた目標に対して、86%が（「達成できた45%」「だいたい達成できた41%」）、普段より早く起きて一日のスタートが切れています。

保護者の協力については、81%が（「協力できた49%」「だいたい協力できた32%」）、生徒の活動をサポートできました。

また、同時期に校区内の保小中で一斉に実施したことで、保護者の意識化が図られました。

6 課題

P T A と学校が協働し、自分の生活時間の中で、きちんと睡眠を取り、余裕をもって起き、朝食を食べ、登校するというサイクルを身につけさせる地道な取組を継続させていかなければならないと考えています。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
久留米市立竹野小学校PTA	清 水 雅 之	焼 山 由 美 子
実施形態	全校 6 学年 7 学級 (特学 1 学級) 1 1 7 名	
実施率	(実施した児童) 1 0 2 名	実施率 8 7 %
実施期間	7 月 2 1 日～8 月 3 1 日 夏休み期間	
単 P の特色	保護者の教育に対する関心は高く、学校の教育環境の整備等に協力的です。「登校指導」「資源物回収」や「シルバー保安官」といった P T A 活動や地域活動を通して、子どもの安全と地域全体での子育てをめざしています。 特に、2 月の「青少年育成の集い」では、地域の方も参加するバザーや講演会があり、人と人とのつながりを大切にするものになっています。	

1 事業のねらい

P T A 活動や青少年育成活動など熱心な地域です。しかし、近年子ども達を取り巻く環境が変化し、睡眠時間や朝食が足りない子どもが増えてきています。

そこで、家庭生活を振り返り、改めて自らの家庭教育を見つめ直す必要があると考えました。そのために、子どもの基本的生活習慣に関する努力目標を決め、家族も協力して達成できる家庭教育宣言を行っていきたいと考えます。

2 実施経過

- 4 月 2 0 日 (木) P T A 理事会・合同委員会での家庭教育宣言実施の説明
テーマの決定「早寝・早起き・朝ご飯」
- 5 月 1 1 日 (木) P T A 総会にて保護者へ取り組みの説明
テーマをもとに各学級 P T A で努力目標の設定
- 6 月 5 日 (月) ‘新’家庭教育宣言についての事前アンケート実施
- 6 月 1 4 日 (水) 学習参観後子育てネットワーク「子育て工房」代表の‘古野 陽一’氏を
招いて「子育てとメディアの関係」についての講話
- 6 月 2 1 日 (水) 事前アンケートの結果報告と P T A 理事会での新家庭教育宣言実施の期
間と内容の検討
- 7 月 7 日 (金) 事前アンケートの結果報告と学級 P T A での新家庭教育宣言の具体的内
容・方法の説明
- 7 月 2 1 日 (金)～8 月 3 1 日 (木) 新家庭教育宣言の実施
- 9 月 7 日 (木) 各学級 P T A での新家庭教育宣言の実施内容報告と 2 学期の
「早寝・早起き・朝ご飯」に関する具体的努力目標の設定
- 9 月 1 2 日 (火) 新家庭教育宣言実施についての意識調査
- 1 0 月 2 3 日 (月) 新家庭教育宣言についての事後アンケート実施
- 1 0 月 3 0 日 (月) 「食と生活習慣」についての保護者啓発授業公開

3 具体的な事業の実際

(1) P T A 総会で、新家庭教育宣言の実施承認

【学校だよりから・・・】

本年度の事業として、県 P T A 連合会家庭教育支援事業の新家庭教育宣言事業を受け、家庭教育の充実を推進することが決まりました。親子で相談して基本的生活習慣やテレビ時間、言葉遣いなどの努力目標を宣言し、その実現に家族ぐるみで取り組む運動です。P T A 活動として組織ぐるみで取り組むことで、成果も上がり、子どもたちの成長を実感することができるのではないかと思います。

(2) 地域学校公開での新家庭教育宣言講演会

第1回の活動の実施として‘新’家庭教育宣言講演会を行い、テレビやゲームなどのメディアが子どもの成長にどのように影響を及ぼすかというテーマで‘古野 陽一 先生’からお話を聞きました。

【講演の内容】

- メディアコントロールの大切さ
 - ・ 自分でテレビ等を切る
 - ・ 寝る時間が安定する。
 - ・ 家族との会話が増える

【保護者の感想】

- ・ メディアコントロールが意識的にできる子どもに育てていきたい。
- ・ テレビやインターネットの怖さがよくわかった。

(3) 夏休み中の‘新’家庭教育宣言の実施

夏休みに「親子の約束ノート」（‘新’家庭教育宣言）を4週間実践していった。宣言項目は、早寝・早起き・朝ご飯以外にお手伝い・挨拶・テレビゲームの時間等多岐にわたっていました。下記の感想から親子の約束決めて実践することで子ども達の自主性があらわれたり、家族みんなで約束を決めることのよさ感じられたりとPTA全体で取り組む意義を感じました。

【児童の感想】

- ・ 朝食を食べていなかったが、毎朝食べるようになった。
- ・ なぜか、自分からするようになった。

【保護者の感想】

- ・ テレビを消すことで、家族の会話ができてよかった。
- ・ 夜テレビを早く消すと無理なく早寝ができた。

(4) 保護者参観での食と生活習慣等の啓発授業

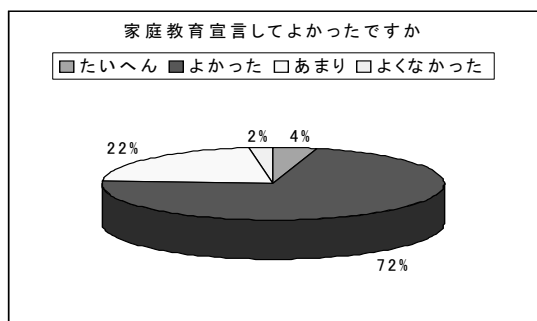
【1年 自分ができる仕事をみつけよう】【6年 自分たちの食事について考えよう】 【保護者の感想】



家でもしっかり仕事を与えようと思いました。

家庭での食事の大切さがわかりました。

4 成 果



- 76%の保護者が、肯定的に受け止めている。また60%の保護者が、今後も続けたいと考えています。
- 親子で約束を決めることで、親子のコミュニケーションが豊かになり、家族一緒に努力する姿ができてきました。
- 子どもの生活を見直すきっかけ作りになりました。
- 全員参加のPTA活動になりました。

5 課 題

- 家庭教育宣言項目の共通課題の設定と時期・回数
- 発達段階における宣言ノート（親子の約束ノート）の工夫
- PTA新聞等での広報の在り方
- 継続的な取り組みの在り方

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
朝倉市立秋月中学校父母教師会	内 村 隆 之	砥 上 力
実施形態	中学校全校 3 学年 3 学級 その他（特学 1 学級）	
実施率	実施した生徒数 9 8 名 実施率 9 8 . 9 %	
実施期間	第一期 6 月 5 日～ 6 月 1 8 日（第 1 期） 第二期 7 月 2 4 日～ 8 月 3 1 日（第 2 期） 第三期 1 0 月 2 日～ 1 0 月 1 5 日（第 3 期）	
単 P の特色	文部科学省の「コミュニティ・スクール推進事業」の調査研究事業の研究指定を受け、地域に信頼される学校づくりをしている学校です。また、平成 1 5 年から平成 1 7 年まで福岡県教育委員会の「小中連携」の研究指定を受け、9 年間を見通した教育の実践的研究に取り組んできました。PTA 活動においても定期的に小中 P T A 連絡協議会を行ったり、行事（リサイクル活動、会員セミナー、地域懇談会等）を開催したりしています。本校は小中一貫校を意識して、地域立学校を目指しています。	

1 事業のねらい

P T A 活動や地域の伝統行事などに熱心に取り組む地域ではありますが、近年、若い親が多くなったり、産業構造の変化にともない、多忙な親が多くなったりしています。

そこで、この新家庭教育宣言を実施することで、親子の絆を深め、親子関係を円滑にすることや目標、約束などを設定して取組を実施することで、子どもの頑張りを認め、励ますことで、たくましく健やかな子どもを育てることができると考えました。

活動目標として

- 親子で話し合って目標・約束を決めよう。
- 目標・約束を実施するときに、お互いを励ましたり、ほめたりしよう。
- 一週間毎に振り返り、話し合って次の活動につなげよう。
- 実施終了後の思いや感情を話し合ひましょう。

2 実施経過

4 月 1 1 日（火）P T A 理事会にて「新家庭教育宣言」の取組を実施することを確認する。P T A 会長から昨年度に引き続き、家庭教育を見直す機会にすることを提言してもらう。

4 月 2 4 日（月）P T A 総会において「新家庭教育宣言」事業計画を提案し、P T A 会員の承認を得る。

6 月 5 日（月）この日より、年間 3 回の「新家庭教育宣言」の取組を実施する。

6 月 8 日（木）小中 P T A 会員セミナーを開催し、福岡県教育企画部生涯学習課主任社会教育主事、久保ひろみ先生を招いて「考えよう、今、家庭・地域でできること」というテーマで講話をしていただいた。

3 具体的な事業の実際

6月8日の小中PTAの会員セミナーの「新家庭教育宣言」講演会を受けて第1回の活動を実施していきました。また、PTAの学年委員会より家庭教育に関する保護者の意識調査を実施したり、地域懇談会の中で、秋月中学校の「望ましい家庭像」を提案したりしながら、「新家庭教育宣言」に取り組むことの意義、価値について啓発を行いました。さらに、校長先生からの学校便りでも、新家庭教育宣言の取組について啓発をして頂くことによってPTA会員の意識を高めていきました。



御膳料理の再現：食育との関連で



防犯駅伝大会：PTAによる豚汁づくり

「新家庭教育宣言」を実施する際に、目標・約束を設定してから取組をはじめることにしました。目標・約束は、親子別々のものにして、基本的な生活習慣や規範意識、食育関係を中心に親子が、お互いに高まりあえることができるように設定しました。特に、夏休み（第2期）からの取組では、一週間毎に、成果と課題を出し合って、点検カードに記入させたことは、具体的に、それぞれの生活を見直すよい機会となりました。この取組が功を奏して、夏季休業期間中も生徒は規則正しい生活を送ることができ、問題行動等を起こす生徒を出すことがなかったように思います。また、9月に入ってから生徒は落ち着いて学習活動に取り組み、学力の向上はもちろんのこと、生徒指導上の問題も激減しています。

親の意識としても「普段、目標を意識せずに生活するのとしめないのでは生活の充実ぶりがまったく異なる」とか「親子で話し合う時間が増えた」「親子がお互いに励まし合うことができた」「子どもの頑張りや成長していく過程がわかった」など、肯定的な意見や感想が数多く寄せられました。

4 成果

- 新家庭教育宣言の取組を実施する際に、目標や約束を各家庭に委ねたことは、子どもの生活実態を見つめ、親子の話し合いを促す機会になりました。
- 年間3回の実施で夏休みを入れたことは、規則正しく夏休みの生活を送らせるのに有効でした。
- 目標・約束を達成するために努力したことを認め合い、取組の成果を親子でわちあうことができました。
- 家庭教育のあり方や子どもの見方が具体的な活動や生活の様子をもとに語られるようになりました。

5 課題

- 新家庭教育宣言の取組を一過性のものとしてではなく、日常的な習慣にしていくかを検討する必要があります。
- 新家庭教育宣言の取組の成果を交流し合い、家庭教育全体を高める必要があります。

南筑後地区

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
大牟田市立倉永小学校父母教師会	泉 英 明	田 川 一 郎
実施形態	全 校	
実施率	298人	実施率 100%
実施期間	6月下旬～10月下旬(第1～3期2週間ずつ)	
単Pの特色	保護者の教育への関心は高く、学校教育活動にも協力的で、PTA行事や学校行事などにも多数参加されます。特色としては、地域と連携した見守り活動や教育講演会の開催、第1, 第3土曜日の「ふれあい広場」の開催などが挙げられます。	

1 事業のねらい

児童の基本的な生活習慣の低下が叫ばれる中、もう一度「わが子」「わが児童」の基本的な生活習慣を見つめ直し、よりよく身に付けていくために、その基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」の実践に、PTAと学校が一体となって断続的に取り組みます。そして、その定着を図る機会を設定し、親子のふれあい等の促進します。

2 実施経過

3月10日	運営委員会にて取組決定「テーマ：早寝・早起き・朝ごはん」
4月26日	事業説明会参加→事業計画案作成
5月10日	実行委員会の立ち上げ・事業計画案審議(運営委員会)
5月21日	PTA総会にて趣旨及び事業計画説明
6月上旬～中旬	研修会講師選定及び依頼、啓発チラシ作成、取組記録表作成等
6月26日	事前アンケート実施、啓発チラシ配布
7月3日～7月14日	第1回取組旬間実施
7月上旬	事前アンケート集計・分析
7月12日	研修会実施 講師 少年サポートセンター補導職員 友清貴子 氏
7月15日	成人教育講演会実施 講師 NPOエスペランサ代表 馬場菊代 氏
9月5日～9月15日	第2回旬間実施、三行詩・写真の募集
10月10日～10月20日	第3回旬間実施
10月25日	事後アンケートの実施
11月上旬～下旬	事後アンケート集計・分析、報告書作成

3 具体的な事業の実際

倉永小学校PTA 「新」家庭教育宣言

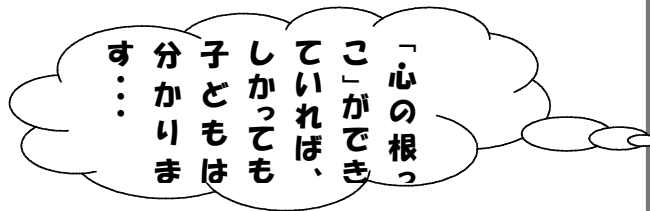
親子で挑戦！
～早寝早起き朝ごはん～

- (1) 実行委員会を組織しての取組推進(運営委員会と兼ねる)

- ## (2) 研修会及び講演会の実施

研修会では、友清先生の「心の根っこを育てよう」の講話が好評でした。（資料 1 参照）

【資料 1：研修会速報】



- ### （３）「新”家庭教育宣言旬間」の取組設定（３回）

～早寝・早起き・朝ごはん～【資料2：取組記録表】



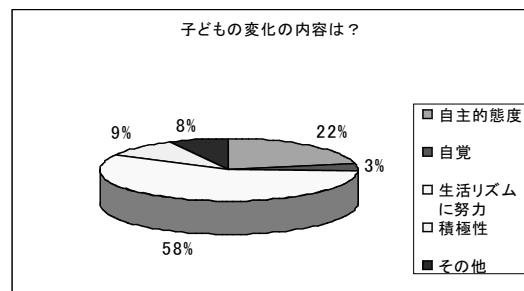
保護者の感想：身につくよう普段から子どもとともにがんばっていきたい！

※このほか、チラシ等による啓発、アンケートを実施して取組の評価等を行いました。

【資料 3：評価アンケート結果】

4 成果

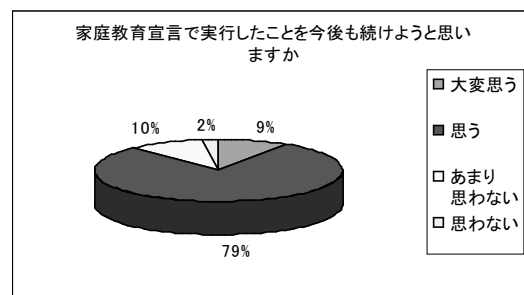
- 学校と家庭の一体となった取組により、取組内容が全体的に向上してきました。
- この結果、半数の児童に変容がみられ、特に自主的態度や生活リズムへの努力が見られるようになり〔資料3参照〕、しつけの大切さや親のあり方についての保護者の意識も高まっています。



【資料 4：評価アンケート結果】

5 課題

- 半数の保護者の変容は見られましたが、家族の変容まで浸透し得ませんでした。
- 保護者の84%が取組を評価し、88%が取組の継続意志を持っているので、根気強く継続し子どもと保護者の変容を図っていくことが必要です。[資料4参照]



単位PTA名	会 長 名	校 長 名
大木町立大溝小学校PTA	野 田 昌 志	石 川 省 三
実施形態	全校（16学級） 児童数 421人	
実施率	前期（7月21日～8月3日）後期（8月4日～8月31日） 実施率100% カード提出率（前期88%・後期90%）	
実施期間	夏休み期間中（7月21日～8月31日）	
単Pの特色	これまで、学校と地域と家庭とが連携した収穫祭（作物を育て、食する）を実施し、食生活の見直しに力を入れてきました。特に、子どもの朝ご飯の摂食率は96%を越えるようになり、現在、誰と何を食べているかを課題とした食育に力を入れています。また、本年度は『家庭教育力の向上（オアシス運動含む）と常置委員会の活動の充実』を重点目標に掲げ、家庭での子どものしつけ方について、各保護者が考えてもらうように、地域の区長や公民館長などを交えた地域懇談会・家庭教育講演会・学級PTAを充実させてきたところです。	

1 事業のねらい

子どもの生活の場である学校と家庭と地域の各々が、役割を自覚し、連携して子どもたちに係われれば、子どもたちの心が耕され、基本的生活習慣の定着が図れると共に、自主性や社会性（規範意識）が培われると考えました。そのために、家庭においては、新家庭教育宣言を通して、下記のねらいをめざすものです。【子どもの生活習慣改善】

- ① 親子の心のふれあい（対話）を通して、めあてを設定し継続的に取り組むことで、子どもの生活の基盤となる基本的な生活習慣を身につけます。
- ② 親子で決めた約束を守ることで、模範的な行動がとれる子どもを育てます。
（保護者自ら、規範行動の実施）

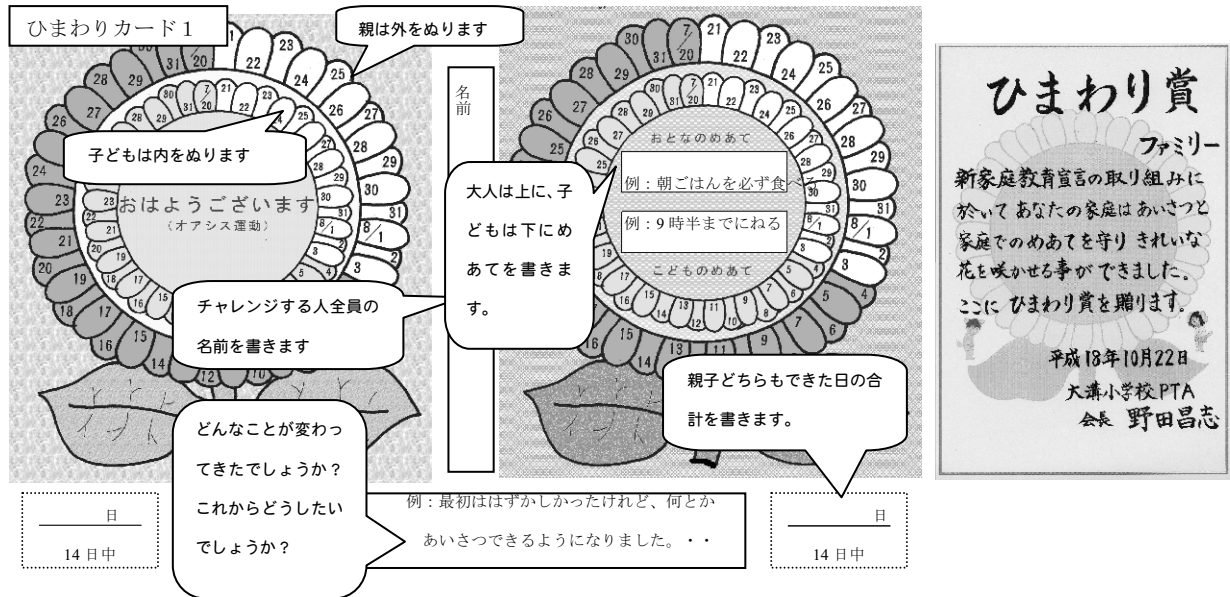
2 実施経過

- 4月28日 PTA総会で参加者に趣旨説明
- 6月 6日 実行委員会で取り組み方について協議
- 6月27日 家庭教育講演会 講師：東和大学教授 正平 辰男先生（対象：全P）
「新家庭教育宣言の実施に向けて」291名中150名ほど参加
実行委員長より、保護者へ実施について再度説明
- 7月12日 保護者にひまわりカード1・2と趣旨及び記入方法の案内配布
（親子で話し合って記入した後、学級担任へ提出）
- 7月21日～8月3日 前期（ひまわりカード1）実施（全家庭）
- 7月28日・31日・8月4日 地域懇談会で、家庭での実施状況の報告
- 8月4日～8月31日 後期（ひまわりカード2）実施（全家庭）
- 9月6日・10月6日 実行委員会で、ひまわりカードの集計と分析
- 10月22日 家庭教育講演会 講師：東和大学教授 正平 辰男先生（対象：全P）
「新家庭教育宣言の取組を通して」291名中120名ほど参加
実行委員長が実施状況・成果と課題・表彰について報告
- 11月6日 全校朝会と各担任から90%以上達成した家庭に賞状を授与
- 12月8日 新家庭教育宣言の成果と課題を保護者に文書で報告

3 具体的な事業の実践

(1) 【ひまわりカード1・2】と【ひまわり賞】

- ①夏休み期間中を前期と後期に分け、前期のめあての実践の評価後、後期のめあての設定
- ②共通宣言項目「おはようございます」と家庭独自宣言項目の形式



(2) 【二度の正平辰男先生による教育講演会】

- ・家庭教育宣言の実施前後に講演をしていただいたので、実施に向けての意欲化と実施後の親としての心構えを考え直す良い機会となりました。ただ、全P数の半数程度の参加だったのが残念でした。

(3) 【地域懇談会における取り組みの報告会】

- ・「おはようございますを言おう」の共通の宣言と同時に、各家庭で親子が話し合って決めた宣言の実施状況を懇談会の折に出し合うことで、成功・失敗談が聞け、他の保護者の親としての考え方が聞けました。また、地域の老人会長・区長・公民館長さんも参加されていたので、参考になる意見が多く聞かれました。

4 成果と課題

＊〈保護者の感想〉—「朝食をとる」「早く寝る」という当たり前のことをするためには、「きちんと作る」「早く寝るように促す」という親の役目が大切だと思います。ややもすると親がさぼりがちだということが実感できました。

《成果》

- 実施して、77%がやって良かったと答えています。その理由は、子どもの生活のリズムができ、自主性が高まりました。また、子どもとも交流ができ、親のあり方を考える機会になったとの回答が多かったです。
- 前期・後期で宣言項目を変えたことで、宣言を必ず継続できるものに修正したり、家族一人一人の役割を見直したりできたので、親子とも意欲的に続けられた家庭が多かったです。
- PTA活動の重点目標『家庭教育力の向上』への具体的な取組が明確になりました。
- 学習への集中力を育てる前提として、家庭生活のリズムが大切なことを自覚して、各家庭で取り組んでもらったことで、学校と家庭との連携の大切さが確認でき、信頼関係が深まりました。

《課題》

- 家庭教育を見直してもらうために、まず、どの家庭も宣言を必ずカードに記入して夏休み中だけ実施しました。継続された家庭が少なかったため、取り組み方を工夫して基本的な生活習慣の定着を図っていきます。(アンビシャスカレンダーの活用を検討中)
- 親がやるべきこと・親がしてはいけないことを話し合う場を確保する必要があります。

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
川崎町立川崎東小学校父母教師会	黒 岩 敬	本 田 智 子
実施形態	全校 学年 学級 その他（ ）	
実施率	(実施した児童・生徒数) 328 人 実施率 100%	
実施期間	7 月 1 日 ～ 9 月 3 0 日	
単Pの特色	本年度より大峰小学校と統合し、約40名の児童と約30世帯の保護者が新しく加わりました。統合前より、両校のPTAが協議を重ね、新年度をむかえる準備をしました。その結果、年度当初よりスムーズなPTA活動が実施できています。	

1 事業のねらい

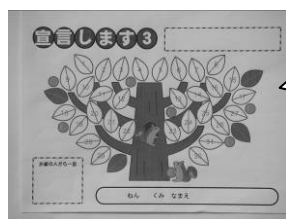
親子で決めた目標・約束と一緒に取り組むことで、親は自らの家庭教育を見直し、このことにより、子どもたちには基本的生活習慣の定着、心の豊かさ、自主性、社会性が身に付くと考えます。

2 実施経過

5月11日	PTA総会で趣旨説明
6月12日	事前アンケート実施
6月28日	事前アンケート集約結果配付
7月 1日～ 7月 7日	第1回「がんばりカード」の取り組み (短期 7日間)
7月21日～ 8月 2日	第2回「がんばりカード」の取り組み (中期 14日間)
9月 1日～ 9月30日	第3回「がんばりカード」の取り組み (長期 30日間)
10月17日	「家庭教育講演会」の実施 講演・・・「伝えていますか？人として生きる上で大切なこと」 講師・・・松本直美さん（ほるぷフォーラム）
10月19日	事後アンケート実施
10月26日	「がんばりカード」目標達成児童表彰（実行委員長 PTA会長）
11月 1日	事後アンケート集約結果配付

3 具体的な事業の実際

(1) “新” 家庭教育宣言の取り組み

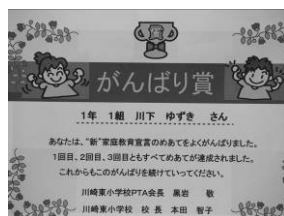


- 第1期取り組み・・・7月1日～7月7日（7日間）
 - 第2期取り組み・・・7月21日～8月3日（14日間）
 - 第3期取り組み・・・9月1日～9月30日（30日間）
- 県P提案の20項目を参考に、それぞれの家庭において親子で努力目標を設定しました。

【資料 がんばりカード】

県P提案の20項目の中で取り組みが多かったのが、「あいさつをきちんとする」「朝は〇〇時までに自分で起きる」「自分の物は自分で片付ける」「お風呂掃除をする」でした。20項目以外の目標も多く、「弟や妹の面倒をみる」「布団敷きをする」「犬の散歩をする」などが見られました。

3期とも全て目標を達成した児童には、そのがんばりを讃え、実行委員長（PTA会長）より賞状（がんばり賞）がおくられました。全校で3期とも目標を達成した児童は60名でした。



【資料 がんばり賞】

(2) 家庭教育講演会

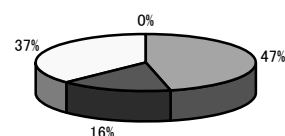


10月17日に、福岡市の松本直美さんをお招きし、「家庭教育講演会」を開催いたしました。松本直美さんの所属しているホルプフォーラムは、〈テレビを消して、家庭に言葉を取り戻そう〉という趣旨で各地で『絵本出前講座』を展開しております。

当日、演題を「伝えていますか？人として生きる上で大切なこと」とし、絵本の読み聞かせを通しての「子育て」について講演をしていただきました。

4 成果

- 家庭教育宣言をして、家族に何か変化があったかという問いには右のグラフのように家庭教育に関心が深まり、子どもとのコミュニケーションも深まったという結果が得られました。
- 「子どもの姿からは、進んで手伝いをするようになった。」「自分で決めたことは、責任を持って取り組むようになった。」等の家庭からの報告がありました。



- ア. 子どもの姿(教育)の大切さを再認識した
- イ. 親自身のあり方を考えさせられた
- ウ. 子どもとのコミュニケーションが深まった
- エ. その他

5 課題

- 今後この取り組みをどのように継続していくのか、PTA組織内ですること、学校と協力して行うこと等を明確にしていくことが必要ではないかと思います。
- 研修会の参加者・不参加者が同じメンバーとなりつつあります。多くの大人に家庭教育・子育てに関心を深めるための手だてを考えなければならないと考えます。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
田川市立弓削田小学校父母教師会	高 瀬 真 由 美	加 治 俊 秀
実施形態	全 校	
実施率	(実施した児童) 3 3 1 人 実施率 1 0 0 %	
実施期間	第 1 期 平成 1 8 年 7 月 3 日(月)～ 7 月 1 6 日(日) 第 2 期 平成 1 8 年 7 月 2 1 日(金)～ 8 月 3 1 日(木) 第 3 期 平成 1 8 年 1 0 月 1 6 日(月)～ 1 0 月 2 9 日(日)	
単 P の特色	本校は創立 1 2 8 年を迎え、保護者や地域との連携も深く、学校行事や P T A 活動への参加も協力的です。P T A 活動として朝の交通指導や読み聞かせ・もち米作り・餅つき・どんど焼きなど伝統的な行事があり、学校・家庭・地域・校区活性化協議会が連携して児童の健全育成に取り組んでいます。	

1. 事業のねらい

事前アンケートによると、朝食を毎朝きちんと取っていない子が 1 0 %、1 0 時以降に寝る子が 2 5 %、自分ですすんで起きられない子が 9 0 % いたりしていることが分かりました。そんな中で、子ども達は学校での集団生活を送っています。

子ども達に「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」が身に付くことを保護者も教師も望み、日々の教育活動を展開しているのですが、前述のような生活習慣で、子ども達に意欲的に学習に取り組ませることには限界があります。

そこで、この事業を実施することで、家庭は家庭での役割をきちんと果たし、子ども達を元気に送り出していただき、元気で健やかな学校生活を過ごさせたいと考えています。

2. 実施経過

- 5 月 1 2 日(金) P T A 理事会で「“新”家庭教育宣言」の取り組みの趣旨や内要について中学校と連携していくことを確認する。
- 5 月 2 3 日(火) 第 1 回実行委員会で取り組みの趣旨や内容について話し合う
- 6 月 6 日(火) P T A 運営委員会で「アンビシャス」のビデオを上映・趣旨説明
- 6 月 2 1 日(水) 高橋 昭朗先生を招いて「家庭教育講演会」を実施する。
- 7 / 3 ～ 7 / 1 6 「チャレンジノート①」(第 1 期)に取り組む
- 7 月 1 0 日(月) 地区懇談全体会で「アンビシャス」のビデオを上映・趣旨説明
- 7 / 2 1 ～ 8 / 3 1 「チャレンジノート②」(第 2 期)に取り組む
- 8 月 1 日(火) 実行委員会(第 1 期の集計・分析・課題把握)
- 9 月 1 5 日(金) 授業参観後の学級懇談で第 1 期の結果について話し合う
- 9 月 1 9 日(火) 実行委員会(第 2 期の集計・分析・課題把握)
- 1 0 / 1 6 ～ 1 0 / 2 9 「チャレンジノート③」(第 3 期)に取り組む
- 1 1 月 7 日(火) 実行委員会(第 3 期の集計・分析・課題把握)アンケート集約
- 1 2 月 5 日(火) 取り組みの成果・課題等のまとめ

3. 具体的な事業の実際

「家庭教育講演会」 演題：『お子さんを賢く、確かに育てるために』

講師：福岡県アンビシャス講師団 高橋 昭朗 先生

- (感想) ○非常に聞きやすく、高橋先生の熱意が充分伝わるよいお話でした。忘れかけていた躰について思い出させられました。
- 子どもを変えていく方向で考えていたが終了後は自分が変わらねばと思いました。

“新” 家庭教育宣言 チャレンジ・ノート		7月①		田中市立立前小学校 学年 4年 学号 52		名前 ながたけさと					
(第1期:7月3日~16日の2週間) (7月の1週) 7月3日~9日		日	3	4	5	6	7	8	9	登 録	
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	虎 登	竜 登
(宣言項目①)		①、Q、X をつづよう!	○	○	○	○	○	○	○	あいさ つづて きるよ うにな りまし た	自分から褒めたい 外国に入りたい になりました。 朝も夜中も おはよう、おなか には大うまいものを 食べたい、あはれ、 おかあさん、 ありがとう。
(宣言項目②)		①、Q、X 毎朝に歯を 磨いたか?	○	○	○	○	○	○	○		
(宣言項目③)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
(宣言項目④)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
(宣言項目⑤)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○	たいや した。	
(宣言項目⑥)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
(宣言項目⑦)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
(宣言項目⑧)		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
朝ごはんを食べる		①、Q、X 毎朝に起き ましたか?	○	○	○	○	○	○	○		
		発生	○	○	○	○	○	○	○		

①、Q、Xについて

自分で出来たら○、書かれてできなかったら○、できなかったら×

登壇について

虎 登・1週間間の虎に登壇を1回でもしたいので書いてください。

竜 登・1週間間の竜に登壇を1回でもしたいので書いてください。

あまり
よくな
かった
18%

よくな
かった
2%

大変よ
かった
10%

よかつ
た
70%

思う 68%
 大変思う 14%
 なに思わない 3%
 あまり思わない 15%

Response	Percentage
思う	68%
大変思う	14%
なに思わない	3%
あまり思わない	15%

— 33 —

単位PTA名	会 長 名	校 長 名
豊前市立八屋小学校PTA	浅井 孝	富松 久
実施形態	全校児童	
実施率	実施した児童数 248人 実施率 100%	
実施期間	第1期 平成18年 6月15日～ 7月14日 第2期 平成18年10月15日～11月14日	
単Pの特色	PTAの各専門委員会が主体的にPTA活動の企画・運営を行っています。また、活動のふり返り（評価）を的確に実施し、次年度の計画立案に反映させています。特に秋に実施される「ふれあい秋祭り」においては、各専門委員会の役割分担を明確にして教育講演会、安全見守り隊感謝集会、ふれあいバザーなどを実施しています。	

1 事業のねらい

本校では、福岡県教育委員会重点課題「キャリア教育」研究指定委嘱校として、「未来を拓く自立心を育むキャリア教育」の研究推進に取り組んでいます。児童の生活実態調査の結果、テレビ視聴の時間と睡眠時間や自分でしなければならないことを自分自身でやりとげることなどについての相関関係が明らかになりました。そこで、事業のねらいを次のように設定しました。

【事業のねらい】

- ① テレビを視聴する時間を自己コントロールできる子どもを育てる。
- ② 自由に使える時間を有効に使って、学習用具の準備や家庭学習の習慣化を図る。
- ③ 何時までに寝るという約束を決めて、必要な睡眠時間を確保する。

2 実施経過

- (1) 4/23 PTA総会における「新家庭教育宣言」取り組みについての趣旨説明
- (2) 5/17 実行委員会（PTA研修委員会）における実施内容・実施方法の検討
- (3) 6/12 保護者に具体的な実施方法の周知（学校通信）
- (4) 6/15～第1期の実施
- (5) 7/20 第1期の結果のとりまとめ（実行委員会）
- (6) 10/15 「ふれあい秋祭り」における教育講演会
演 題 「食べるってなあに？」
講 師 料理研究家 山 際 千津枝
- (7) 10/15～第2期の実施
- (8) 11/15 第2期の結果のとりまとめ（実行委員会）
- (9) 11/20 取り組みの成果・課題についての意見交流・まとめ

3 具体的な事業の実際

(1) 第1期の結果

- ① テレビを見る時間を○時間以内にする。
 - 十分に達成 60%
 - おおむね達成 22%
 - 計 82%
- ② ○時までには寝る。
 - 十分に達成 37%
 - おおむね達成 23%
 - 計 60%

(2) 第2期の結果

- ① テレビを見る時間を○時間以内にする。
 - 十分に達成 60%
 - おおむね達成 21%
 - 計 81%
- ② ○時までには寝る。
 - 十分に達成 37%
 - おおむね達成 31%
 - 計 68%

新家庭教育宣言「目標設定・がんばりカード」

豊前市立八屋小学校 5年 1組 名前 山崎 幸子

【ぼく・わたしの約束】
○ 今 テレビを見ている時間 【だいたい 3 時間】
○ 今 ねている時間 【だいたい 10 時 30 分ごろ】
① テレビを見る約束(時間や番組)を決めて、1日(2)時間以内を守る。
② (10)時(00)分までに、おうちの人に言われないでね。

実施期間 10月15日(日)～11月13日(月) 30日間
提出 11月14日(火)～16日(木)

日	月	火	水	木	金	土
15 ①● ②●	16 ①● ②●	17 ①● ②●	18 ①● ②●	19 ①● ②●	20 ①● ②●	21 ①● ②●
22 ①● ②●	23 ①● ②●	24 ①● ②●	25 ①● ②●	26 ①● ②●	27 ①● ②●	28 ①● ②●
29 ①● ②●	30 ①● ②●	31 ①● ②●	1 ①● ②●	2 ①● ②●	3 ①● ②●	4 ①● ②●
5 ①● ②●	6 ①● ②●	7 ①● ②●	8 ①● ②●	9 ①● ②●	10 ①● ②●	11 ①● ②●
12 ①● ②●	13 ①● ②●	まもれた日(青・みどりの○のかず) ①テレビ (30 日) ②ねる時間 (25 日)				
ふりかえり 10時ぐらいいねると、次の日の朝がだるくなる。 でも、9時ぐらいいねれば、次の日の朝がすっきり起きられるので、これから、早寝早起きを続けていきたいです。		お家の人の感想 早寝早起が大切だと気づきました。朝食もきちんと食べることができました。30日間がんばって、思いっきり休みたいです。				

※ 保護者のコメント

- テレビを見る約束を決めてから、学校から帰った後、だらだらとテレビを見るのが少なくなりました。時間をうまく使えるようになったのがよかったと思っています。(2年生保護者)
- 自分から進んでできる日もありますが、親が注意したり声をかけたりしてあげないと行動に移せない日もあります。でも、何度か、自分で目標を決めるうちに、自分の中できまりを守ろうという気持ちが出てきたようです。少しずつですが言われないでできるようになってきました。(3年生保護者)
- 「テレビを見る約束」について親自身が考えさせられました。今まで、見ただけ見せ、つい寝る時間も下がって、それが原因で朝、起してもなかなか起きられないという繰り返し～親自身がしっかり子どものお手本となって見たい番組をコントロールしなければと気付かされました。(5年保護者)

4 成 果

- 下校後に多くの時間として奪われていたテレビ視聴時間の問題点に保護者が目を向け、子どもと「見てよい番組」や「見てよい時間」についての約束をつくるなど、生活時間の有効活用についての実践が行われるようになりました。
- 発達段階に応じた睡眠時間の確保の大切さについての理解が深まり、必要な睡眠時間を確保するための子どもへのかかわり(指導・声かけ)が行われるようになりました。

5 課 題

- 基本的な生活習慣づくりを更に進め、自分自身でしなければならないことを、自分の力でしっかりとやり遂げることができる力を育てる必要があります。
- 家庭での望ましい生活習慣の一環として、家庭学習の習慣化(自主的な宿題への取組みと自主学習の実践)を図る家庭と学校との連携策を具体化する必要があります。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
みやこ町立犀川小学校 P T A	森原 伸恵	有田 玲子
実施形態	全校児童	
実施率	224名 100%	
実施期間	平成18年5月13日～平成18年10月30日 第1期 平成18年6月19日～6月23日 第2期 平成18年7月10日～7月14日 第3期 平成18年9月 4日～9月 8日	
単 P の特色	・「あいさつ運動」「学校応援団」など学校と家庭・地域が連携した活動が行われています。特に平成17年度からは、スクールガードリーダーを中心とした「地域見守り隊」も組織され、地域をあげての安全対策がとられています。	

1 事業のねらい

- 基本的な生活習慣を身につけた児童の育成を目指して、P T A、学校が協力した「早寝、早起き、朝ごはん」運動を行います。
- 児童の学校でのやる気やがんばりは、学校に登校してから発揮できるのではなく、家庭で目覚めたところから始まっているというコンセプトのもと、「夜更かし、朝寝坊、朝食ぬき」をなくすことを目指しています。

2 実施経過

(1)	4月16日	P T A総会で趣旨の説明を行う
(2)	5月 2日	実行委員会を行い、形式や方法等の協議を行う
(3)	6月19日	第1期の実施 ※終了後集計と反省、報告
(4)	7月10日	第2期の実施 ※終了後集計と反省、報告
(5)	9月 4日	第3期の実施 ※終了後集計と反省 報告
(6)	10月 1日	実施状況の報告と各家庭での自主的継続実施のお願い
(7)	10月30日	実施状況の感想を集約
(8)	12月 2日	教育講演会
演題「こどもとともに3つの“きょういく”」 ～学校教育、家庭教育の役割を考える～ スクールカウンセラー 山田 幸代先生		

3 具体的な事業の実際

『親子の約束カード』の実施

本校では、P T A総会の折に保護者に「新家庭教育宣言」の趣旨やねらいを説明し、この事業に対する理解を得ました。

具体的な進め方については、P T A本部役員会や実行委員会で具体的な資料を提示しながら、進め方について協議を行いました。親子の約束カードは、「早寝」「早起き」「朝ご飯」と「おはようございます、おやすみなさいを言う」の4項目と家庭で決めた約束1項目の5項目を親子の約束としました。その結果、表のように回を重ねるごとに生活習慣の定着が図られてきました。特にほとん



どの児童が朝食をとって登校できるようになっています。

	6月19日	7月10日	9月4日
早寝	76%	82%	82%
早起き	73%	76%	89%
朝ご飯	89%	96%	98%
あいさつ	73%	80%	83%

『学校応援団』の活動

保護者と連携した活動を行うためには、まず学校のことを知ってもらうことが重要です。

そこで、保護者に学校の様子を見てもらい、学校のサポーターになってもらうために、「学校応援団」を組織しています。

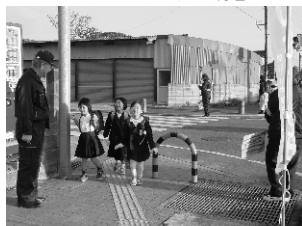
応援団の皆さんは、都合のよい日に学校に来ては、学校の環境整備を行ったり、教室の様子を見たりします。今年は、花壇の花を植え替えたり、図書室の木製椅子にペンキを塗ったりしました。



花壇の花の
植え替え。



『あいさつ運動』や『見守り隊』の活動



「あいさつ運動」と「見守り隊」は学校、保護者、地域が連携して行う活動です。あいさつ運動は、毎月1日に街頭で児童生徒にあいさつの声かけをします。

また、見守り隊は、毎日、登校時と下校時、地域の皆さんが児童の下校時の引率や安全パトロールを行います。「見守り隊」の輪は、現在でも広がり、協力者がふえています。

4 成果

- 「親子の約束カード」を行ったことによって、親子で約束カードの項目を考えたり、守るための工夫をしたりして保護者が支援しながら生活習慣の定着を図ろうとする姿が見られるようになってきました。
- 保護者と学校の連携が深まってきました。

5 課題

- 今後も「親子の約束カード」の活動を通して家庭と学校が連携を深めるために活動の付加修正を行う必要があります。

単位PTA名	会長名	校長名
北九州市立花尾小学校PTA	藤田武男	原田 直久
実施形態	全校	
実施率	485人（実施率100%）	
実施期間	平成18年10月16日～29日 平成19年1月22日～2月4日	
単Pの特色	PTA活動の活性化のため、活動のテーマを明確にし、必要に応じてPTA行事に地域参加を呼びかけるなど地域との連携を密にしています。 （PTA理事会・花尾博覧祭など）	

1、事業のねらい

本年度の活動方針でもある家庭教育を振り返ると共に、子どもの基本的な生活習慣の確立と親子のコミュニケーションの確立を図ることをねらいとしています。

2、実施経過

- 9月 4日 全家庭、生活習慣アンケート実施しました。
- 10月12日 保護者への説明会・研修会を実施しました。
テーマ「子どもと共に親育ち」
講師 東筑紫短期大学助教授 中島俊介先生
- 10月16日～29日 第1回花尾チャレンジ宣言をしました。
- 1月22日～2月4日 第2回花尾チャレンジ宣言をしました。
- 2月26日 子どもたちに、修了書を渡しました。

3、具体的な事業の実施

ポスターの作製

子どもたちに、親子で約束（宣言）したことを絵にしてもらい、ポスターを作成しました。

学校内・地域に掲示し、花尾チャレンジ宣言を広く知ってもらうようにしました。



花尾チャレンジ宣言

1回目は5項目の宣言しました。

《宣言項目》

- ① 朝ご飯を毎日食べる
- ② テレビを見る時間を決める
- ③ 寝る時間を決める
- ④ “ありがとう” “ごめんなさい”を自分から言う
- ⑤ お手伝いを一日2つ以上する

2回目は前回プラス親子で決めた約束の6項目の宣言をしました。

《宣言項目》

- ① 朝ご飯を毎日食べる
- ② テレビを見る時間を決める
- ③ 寝る時間を決める
- ④ “ありがとう” “ごめんなさい”を自分から言う
- ⑤ お手伝いを一日2つ以上する
- ⑥ お家の人と決めた約束

(チャレンジカード)

おやこで だのしくチャレンジ!

★「テレビの時間」と「ねる時間」は「おうちの人とはなしてきめよう!」
★「おうちの人ときめにやくそく」は、カードのうしろをさるうにうして、きめてください。きめていない「やくそく」でもおあいません

もつやくそく

1. あさごはんを おいにち食べる
2. テレビをみる時間をきめる
3. ねる時間をきめる
4. 「ありがとう」「ごめんなさい」をむんから言う
5. おてつたいを1日2つ以上する
6. おうちのひとときめた「やくそく」

おやこでやくそく

です。

1回目	あさごはん	テレビ (1日 時間)	ねる時間 (時間)	「ありがとう」 「ごめんなさい」	おてつたい	おやこで やくそく
1月22日 1月	★	★	★	★	★	★
1月23日 1月	★	★	★	★	★	★
1月24日 1月	★	★	★	★	★	★
1月25日 1月	★	★	★	★	★	★
1月26日 1月	★	★	★	★	★	★
1月27日 1月	★	★	★	★	★	★
1月28日 1月	★	★	★	★	★	★

2回目のチャレンジ
どうだったかな?

★おやこでやくそくをきいてね!★

2回目	あさごはん	テレビ (1日 時間)	ねる時間 (時間)	「ありがとう」 「ごめんなさい」	おてつたい	おやこで やくそく
1月29日 1月	★	★	★	★	★	★
1月30日 1月	★	★	★	★	★	★
1月31日 1月	★	★	★	★	★	★
2月 1日 1月	★	★	★	★	★	★
2月 2日 1月	★	★	★	★	★	★
2月 3日 1月	★	★	★	★	★	★
2月 4日 1月	★	★	★	★	★	★

修了書

取り組み終了後、子どもたちに修了書を発行し、
がんばりを認め合いました。



4、成果（保護者アンケートより）

第1回目

- * 生活習慣を見直すいい機会になりました。
- * 「自分で決めたことは守る」という意識付けができました。



5、課題

- * 兄弟の生活リズムの違い。
- * 仕事のため、いつも子どものそばについてあげられない。
- * 習い事の日・週末は守りにくい。
- * 規則正しい生活週間をすること。

第2回目

- * 子どもが自覚し、生活のリズムを考え努力していました。
- * 親子で取り組むことにより、意識が変わりました。(コミュニケーションが取れた。)



- * 夜型になっている生活リズムの改善。
- * 低学年と高学年での宣言項目の見直し。
- * 実施期間だけでなく、日常の生活への定着。

このような課題を解決する方策を今後検討していきたいと考えています。

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
福岡市立香椎浜小学校 P T A	西 川 和 通	長 谷 川 弘 明
実施形態	全校 (12 学級) 児童数 376 人	
実施率	実施率 100%	
実施期間	平成 17 年度より実施 (現在も継続中)	
単 P の特色	校区の特徴 (福岡市東区香椎浜校区) ・ すべて集合住宅である。 ・ 通学は徒歩 10 分圏内である。 ・ 信号機がない。 ・ 校区内に大型ショッピングセンターが平成 16 年冬開業、現在新たな大型マンションが建設中。 ・ 世帯数 約 2000 世帯 うち児童 276 世帯 単 P の特徴 子ども一人につき最低 1 回は代表委員 (学年・広報・成人教育・保健地域・選考) をし、それ以外の年度も協力委員 (ベルマーク・パトロール・運動会片付け等) としていずれかの委員会に所属して、できる範囲の協力をする「全員委員制」を実施し、多くの活動を行っています。	

1 事業のねらい

近年子ども達の生活リズムが乱れ、学力の低下が大きな問題となっています。それを解決するには、基本的な生活習慣の改善が必要と考え、香椎浜三大運動をスタートさせました。

- 「あいさつ運動」……あいさつをしよう。あいさつで心を通わせましょう。
- 「早寝早起き朝ごはん運動」……早寝早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べましょう。
- 「8時だよ全員登校運動」……8時にはお家を出て、学校へ行きましょう。そうすれば、遅刻をしません。

2 実施経過

平成 17 年度 各家庭に三大運動のポスターを掲示用に各家庭に配布しました。
 総会、運営委員会、P T A 新聞等ことあるごとに、三大運動の実施を呼びかけをしました。

☆ あいさつ運動の取組

毎週月曜日 P T A を中心に 8 : 00 ~ 8 : 30 正門にてあいさつ運動の実施しました。学期初めに、学年ごとに日時を設定したあいさつ運動の予定表を配布し、保護者に参加の呼びかけをしました。

毎週水曜日 校区老人会を中心に 8 : 00 ~ 8 : 30 正門にてあいさつ運動を実施しました。

毎月第一火曜日 中学校ブロックにて「あいさつ運動」を実施しました。6 年生児童が中学校正門にてあいさつ運動を実施しました。

☆ 早寝早起き朝ごはん運動の取組

平成 18 年 2 月 保護者を対象に「家庭における食のあり方について」講演会を実施しました。
 講師：福岡市こども未来課の職員 (管理栄養士)

平成 19 年 7 月 朝ごはんに関するアンケートを実施しました。
 内容 1. 朝ごはんを食べているか
 2. 朝ごはんの内容 (主食、汁物等)

3. 各家庭の自慢の朝ごはんレシピ

平成 19 年 9 月 給食試食会を実施しました。

- 内容 1. 学校栄養職員の先生から「食事バランスガイド」使用し、食事をバランス良く食べる事を学びました。
2. 子ども達と同様の給食を試食しました。

平成 19 年 11 月 7 月の朝ごはんアンケート結果を集計し、朝ごはんレシピ集を配布しました。

平成 19 年 12 月 朝ごはん試食会と講演会を実施しました。

- 内容 1. 朝ごはんレシピ集の中から 3 品を家庭科室で親子で調理し、試食を実施しました。
2. 保護者を対象に「子どもの成長と食生活」講演会を実施しました。

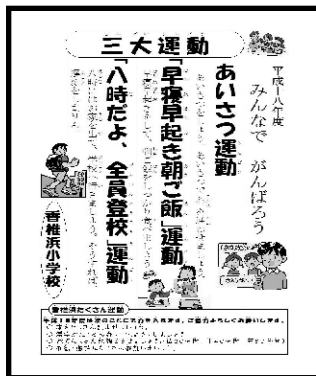
講師：福岡女子大学 人間環境学部 早渕 仁美 教授

3 具体的な事業の実際

三大運動掲示用ポスター

あいさつ運動

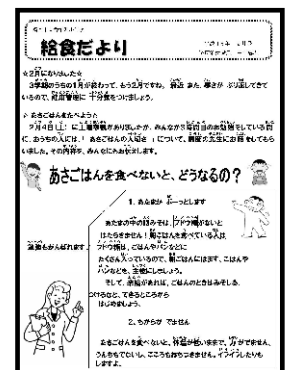
保健地域委員会により



朝ごはん試食会

講演会 講師：早渕教授

給食だより



4 成果と課題

《成果》○「コミュニケーションの始まりは、あいさつから」の意識が高まりました。

○遅刻をする子ども達が格段に減少しました。

○朝ごはんの大切さを理解した保護者が増えました。（朝ごはんを食べる子どもの割合 90%以上）

○午前中の集中力が上がりました。

○学校側も食育への意識が高まりました。（平成 17 年度より栄養職員を配置し、給食だよりや給食室横の掲示板で食育についても啓発が多くなりました。）

《課題》○保護者への啓発はできるが、各家庭の環境が異なるので、どこまで各家庭に入り込めるかが課題であり、保護者の意識改革が必要であると思っています。

実践報告

－平成１８年度優良ＰＴＡ文部科学大臣被表彰団体－

○北九州市立大里柳小学校父母教師会

○北九州市立ひびきが丘小学校ＰＴＡ

○福岡市立筥松小学校父母教師会

○筑紫野市立原田小学校父母教師会

○春日市立春日原小学校父母教師会

○立花町立白木小学校父母教師会

○福岡県立西田川高等学校父母教師会

北九州市立大里柳小学校父母教師会

〒800-0032 北九州市門司区不老町二丁目 1 番1号

TEL 0 9 3 - 3 8 1 - 4 7 3 1

1 会員数及び会費（平成 1 7 年度）

区分	P 会員	T 会員	その他の会員	計
会員数	2 6 8 人	2 4 人	1 4 人	3 0 6 人
一人当たりの会費 (年間)	6 0 0 0 円	6 0 0 0 円	0 円	

2 収支決算

収入の部	会費納入	1, 464, 463 円	その他の収入	967, 720 円	計	2, 432, 183 円
支出の部	費 目	支出額	摘 要（主な使途）			
	総務費	867, 861 円	会議費、慶弔費、事務費、渉外費、常任費 研修費、専門委員会費、広報費、諸負担金 周年事業積立金			
	事業費	932, 415 円				
	その他	50, 000 円				
	計	1, 850, 276 円				

3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
北九州市立大里柳小学校父母教師会規約	平成 8 年 4 月 2 0 日	全面改正・施行

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	P T A の沿革（活動のトピックスのみ記載）
大正 1 3 年	大里尋常高等小学校父母教師会 設立
昭和 1 6 年 4 月	大里柳国民学校父母教師会となる
昭和 2 2 年 4 月	門司市大里柳小学校父母教師会となる
昭和 3 8 年 2 月	北九州市立大里柳小学校父母教師会となる
昭和 4 8 年 1 0 月	創立 1 0 0 周年記念式典・記念事業挙行
平成 1 5 年 1 1 月	創立 1 3 0 周年記念式典・記念事業挙行